

# 官報

號外

昭和八年二月四日

## ○第六十四回貴族院議事速記録第九號

帝國議會

昭和八年二月三日(金曜日)午前十時二十四分開議

### 議事日程 第九號

昭和八年二月三日

午前十時開議

第一 國務大臣ノ演說ニ關スル件(第八日)

第二 昭和七年法律第一號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ各般ノ報告ヲ致サセマス

(角倉書記官朗讀)

去月三十一日可決シタル從三位勳二等鍋島桂次郎君ニ對スル弔辭ハ昨二日之ヲ贈レリ昨二日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

昭和七年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)昭和七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

同日委員長ヨリ決算委員坂西利八郎君ヲ第四分科擔當委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程變更ニ付キ御諮リ

官報號外

昭和八年二月四日 貴族院議事速記録第九號 議長ノ報告 日程變更ノ件 昭和七年法律第一號中改正法律案、第一讀會

ヲ致シマス、議事ノ都合上諸君ニ於テ御異議ガナケレバ日程第二ノ第一ノ前ニ繰上ゲタイト存ジマス

○議長(公爵德川家達君) 昭和七年法律第一號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

昭和七年法律第一號中改正法律案 右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和八年一月三十一日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長 公爵德川家達殿

昭和七年法律第一號中改正法律案 昭和七年法律第一號中左ノ通改正ス  
「二億六千萬圓」ヲ「四億九千百萬圓」ニ改ム

### 附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

参照

昭和七年法律第一號ハ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律ナリ

(政府委員堀切善兵衛君演壇ニ登ル)

○政府委員(堀切善兵衛君) 只今議題トナリマシタ昭和七年法律第一號中改正法律案、提出ノ理由ヲ説明イタシマス、滿洲事件ニ關スル經費ニ關シマシテハ、去ル第六十一回及第六十二回帝國議會ニ於テ、其財源ニ充ツル爲メ公債ヲ發行スルコトヲ得ル法律案ノ成立ヲ見、之ニ依リ本年一月迄ノ經費ヲ支辨シ得ル次第アリマスルガ、其後ノ本年度分並ニ昭和八年度分ノ經費トシテ、更ニ約二億三千萬圓ヲ必要トスルノデアリマス、而シテ今日ノ財政狀況並ニ本經費ノ性質ニ鑑ミ、從來ノ如ク之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタ爲メ、現行滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲メ公債發行ニ關スル法律案中ノ發行限度ヲ改正增加スルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出イタシタノデアリマス、何卒御審議ノ上、御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望スル次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ニ對シテ別ニ質疑モナイト存ジマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

(小林書記官朗讀)

昭和七年法律第一號中改正法律案特別委員

侯爵細川 護立君 子爵裏松 友光君

子爵綾小路 護君 男爵長 基連君

菅原 通敬君 西野 元君

阿部房次郎君 上郎 清助君

大西虎之介君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ヲ許シマス、通告順ニ依リマシテ田中館長君ノ登壇ヲ望ミマス

(田中館長君演壇ニ登ル)

○田中館長君 此内外多事ノ際ニ當リマシテ、國語問題ノ如キ生溫イ問題ヲ以テ國務大臣ヲ煩ハシマスコトハ甚ダ時機ヲ得ナイ感ヲ致シマスルケレドモ、顧ミマスレバ日露戰爭ノ酣ナル時ニ當リ、明治天皇陛下ガ東京帝國大學ニ御臨幸ニナリマシテ、時ノ文部大臣ニ對シテ優渥ナル御沙汰ガゴザイマシタ、軍國多事ノ際ニ雖モ教育ノコト忽セニスベカラズ、其局ニ當ル者勉勵セヨト云フ尊キ御沙汰ガゴザイマシタ、本員モ當時教員ノ末席ヲ汚シマシテ、此御沙汰ヲ拜シマシテ感激ニ咽ビマシタコトハ、尙ホ昨今ノ如キ感ヲ致シテ居リマス、本議會ノ初メニ當リマシテ、二荒伯爵ヨリ國民精神ニ付テ御質疑ガアリマシタ、之ニ對スル政府ノ御考モ伯爵ト全ク感同ジウスルト云フ御言葉ヲ伺ヒマシテ、誠ニ安心ヲ致シマシタ、此伯爵ノ御質疑ハ寧ろ抽象的ノコトガ多ウゴザイマスシ、又政府カラノ御示シノ所モ抽象的ノ所ガ多ウゴザイマシタカラ、私ハ具體的ノ一、二ノコトニ付キマシテ國民精神ニ關係シマシテ御尋ヲ致シタイト存ジマス、國民ノ個性ト申シマスコトハ色ミノ要素ニ依リテ築カレテ居リマス、中ニモ國語、言語ト云フモノハ國民ノ個性ノ最モ深刻心ニ徹シテ居ルモノデアリマス、我々ハ祖先以來語リ繼ギ聞キ繼ギシテ今日ニ至リマシタ所ノ此國民ノ精神ハ、國語ヲ取除キマシタナラバ如何ナルモノニナルカ、是ハ實ニ日本國民ニ限リタコトデアリマセヌ、何處ノ國ト雖モ國語ニ立脚スル傳統ガ愛國心ノ基ヲ成シテ居リマス、「ベルギー」ノ如キ小國ニ於キマシテモ、大「ロンドン」位ノ人口ノ有ルカ無イカト云フ位ノ國ニ於キマシテモ、國語ガ二ツニ分レテ居リマス、「フ

「ラマン」語ト佛蘭西語ノ部分ニ分レテ居リマシテ、此「フラマン」民族ハ、佛蘭西語ヲ使ハナイ者ガアリマス、佛蘭西語ノ大學デハ満足出來ナイ、「フラマン」語ノ大學ヲ作レト云フ聲ニ依テ、内閣ノ變動ヲ起ス程ニ至、タノデアリマス、丁度大戦争後二三年ノ頃デアリマシタガ、安達大使ガ「ブラッセル」ニオイデノ時ニ御招キヲ戴キマシテ、其席ニ参リマシタ時ニ、此問題ガ新聞ニ盛ニ論セラレテ居リマシタ、「ベルギー」ノ士官ニ「フラマン」語ヲ學ブコトヲ要求スル、或ハ、此「フラマン」語ノ試験ヲ廢スルカト云フ問題ガ出テ居リマシタ、之ニ對シテ、「フラマン」派ノモノハ、猛烈ニ「フラマン」語ヲ學バナケレバナラヌト云フコトヲ唱ヘテ居リマス、佛蘭西語ノ命令ナドハ分リマセヌト云フ元氣ヲ持テ居リマス、私ハ之ヲ見マシテ、此氣力アレバこそ、獨逸軍ガ壓倒シテ來タモノヲ支ヘテ、「ブラッセル」ノ都全部占領サレテモ屈セザル所ノ勢力ガアツタノデアル、安達君ドウダト聞キマシタ所ガ、「其通り」ト云フ御話デアリマシタ、我我ノ國語ニ於キマシテモ、昔ヨリ深ク人心ニ滲ミ込シテ居ル所ノモノハ國語デアリマス、勿論國語ニハ、他國ノ言葉ヲ輸入イタシマス、文化ヲ取入レルト共ニ漢語モ入リマスレバ、印度ノ佛語モ入リマス、近頃ハ「ヨーロッパ」語モ入リマス、併ナガラ、是等ノ言葉ハ、恰モ歸化人同様ニ、日本語ニ同化サレテアルノデアル、而シテ遂ニハ其發音モ、言葉ノ變化、語尾變化マデモ日本語ニナルノデアリマス、之ヲ顧ミズシテ、近頃奇怪ナルコトヲ、或新聞ニ……新聞デハアリマセヌ、雜誌ニ載セテアルト云フコ

トヲ聞キマシタ、國語ヲ持タナイ國民ハ、日本ダケダ、皆漢語ヲ使テ居ル、此頃ハ英語ヲ使フ、日本ニ國語ハナイト云フコトガ雜誌ニ書イテアル、ツイ二三日前ニ、早稻田大學ノ「ローマ」字會ノ總會ガアリマシテ、ソコニ参リマシタ所ガ、之ヲ讀ンデ聞カサレマシタ、之ニ對シテ、私ハ成程英語ヤ佛蘭西語ヲ習フ者ハ文法ヲヤカマシタ言ハレ、書キ方ヲヤカマシタ言ハレテ、整然トシタヤウニ考ヘルカモ知レヌ、日本語ト雖モ之ヲ整理シテ書キ現ハセバ、ヨリ立派ナモノニナリテ居ル、假リニ英語ノ中カラ拉典語ト希臘語ヲ取除ケタラバ何ガ殘ルカ「エレキ」ハ無クナル「デレグラフ」ハ無クナル、「ラヂオ」ハ無クナル、「キネマ」ハ無クナル、何ガ殘ル、其論者ニ言ハセレバ「ラテン」「グリーキ」ヲ除ケレバ英語ト云フモノハ無イト言フモノ宜イ、併シ何ガ殘ルカト言ヘバ、其處ニアル所ノ「デニオハ」ガ殘ル、語尾變化ト「デニオハ」ガ……之ガ國語ノ精神デアル、我々ノ國語ニ於キマシテモ、古クヨリ歸化人ニナリテ言葉ハ全部日本語ト同ジデアリマス、即チ菊トカ梅トカ云フ外國輸入ノモノデアリマス、「フミ」ト雖モ文カラ來テ居ル、併ナガラ此日本語ノ働キハ所謂言葉幸國ノ日本語ノ同化力デアリマシテ、「デニオハ」ニ依テ日本語ハ全部同化サレテアル、我々ハ外國ノ文化ヲ同化スル、二荒伯ノ御言葉ノ中ニモ西洋文化ヲ取入レテ、日本精神ヲ注平込シテ用ヒルヤウナ教育ニスルト云フ御趣意ガアリマシタ、殊ニ我ガ民族ニハ他ニ見ザル所ノ著シキ現象ガアル、ソレハ外デモアリマセヌ、大和歌デアリマス、文字ノ輸入サレル前カラアリマシタ所ノ素盞鳴命ノ「八雲立ツ」ノ

歌、ソレヨリ降リマシテ歷代ノ朝廷ニ行ハレマシタ所ノ歌、今日ト雖モ御歌會始ニハ勅題ヲ賜ハリマシテ、廣ク臣下ノ歌ヲ奉ラシメ給フ、此歌ニ於テ言葉ヲ研クコトハ國民一般ニ廣ク行ハレタノデアル、言葉ト云フコトト、文字ト云フコトヲ能ク混同イタシマス、國語ト云フコトト國字ト云フコトニ對シテハ、文字ハ此言葉ヲ寫スモノデ、言葉ハ主ナル精神デアッテ文字ハ是ノ屬デアル、賀茂實淵ガ申マシタ如ク、言葉ハ主人ガ不都合ヲ起スト云フコトハナイ筈デア、然ルニ漢字ハ唐ノ文字デ語系ヲ異ニシタ所ノ文字ヲ使フタ爲ニ、日本語ガ漢語ノ爲ニ色ミノ故障ヲ起ス、是ハ嘆ハシイコトデア、ルト云フノデ、當時既ニ假名文字論ヲ唱ヘ、或ハ西洋ニハ「アファルベツト」ト云フモノガアルサウダガ、ソナモノデモ宜カラウト云フ論ヲ出シテ居リマス、ソレデ是等ノ國字問題ニ付キマシテモ尙ホ伺ヒタイ點ハ澤山ニ爲ニ、近年ニ於テ世界各國ト交通ヲスル爲ニハ、此世界ノ共通ノ文字ナル所ノ羅馬字ヲ以テ國語ヲ書クコトニ付テハ、二質疑ヲ致シマス、勿論今使ハレテ居ル所ノ文字モ決シテ完全ナモノデハナイ、ナイカラコソ國語調査會等デ數年間議論ヲ續ケテ居リマシテモ、未ダ適當ノ解決ニ達セザル有様デアリマス、其事ハ措キマシテ羅馬字ノ必要ト云フコトカラ申シマス、第一郵便電信ノ條約ニ於テハ、國際間ニ出ス所ノ手紙ノ宛名、所付ケ、是ハ羅馬字ヲ以テ書クト云フコトニナリテ居ル、此書キ方ハ國語ニ依テ羅馬字ヲ使フ慣例ガ違ヒマスルカラ勝手ニ書キマス、都合次第ニ佛蘭西語ヲ習フタ

者ハ佛蘭西流ニ書ク、獨逸語ヲ習フ者ハ獨逸流ニ書ク、英語ヲ習フ者ハ英語流デ書イテ居ル、然ルニ茲ニモウツ大切ナコトハ地名デアリマス、地名ノ書キ方ヲ如何ニスルカト云フ問題、此問題ノ起リマシタノハ西洋ノ曆デ千八百九十年ニ獨逸ノ「ベシク」教授ガ世界ノ地圖ヲ統一シタイ、世界ノ地圖ト云フモノハ各國勝手ニ區ミニ出來テ居テ、隣國ト接ギ合セガ出來ナイ、先來テ居テ、一ノ世界地圖ト云フモノヲ作ラウ、世界地圖……是ニハ其地圖ノ作り方カラ、經緯度ノ割り方、高低線ノ引キ方、色ノ著ケ方マデヲ定メテ、一緒ニ百萬分ノ一ノ地圖ヲ作テ、之ヲ接ギ合セバ地球ノ圖ガ出來ル、丁度梨子ノ皮ヲ剥イタヤウナ圖、之ガ出來ルノデス、百萬分ノ一ト申シマスト云フ、丁度直徑十三米突半バカリノ球ノ梨子ノ皮ヲ世界中カカテ張ラウト云フノデアリマス、ソコデ是ノ實行ニハ此後色ミト研究ヲ致シマシテ十九年經テ千九百〇九年、倫敦ニ於テ此會議ヲ開キマシテ、愈、此案ガ成立チマシテ、ソレデ是ニ書ク地名ハ羅馬字ヲ以テ書クコト、斯ウナッタノデアリマス、而シテ我國ノ地圖ハ陸軍ノ參謀本部、陸地測量部ガ之ヲ製作スルコトニナリマシタ、ソコデ此地名ノ書キ方ガ問題ニナッタノデアリマス、是ガ抑、此地名ノ書キ方ノ問題ノ起リデアリマス、デ御承知ノ如ク「ローマ」字ノ使ヒ方ハ日本デハ三百年以來天草ニ「ホルトガル」ノ宣教師ガ來テ、「ローマ」字ヲ弘メテ以來和蘭式ガアル、ソレカラ降テ英語式ノ「ヘボン」式ガアル、更ニ之ヲ日本語ニ同化シタ所ノ日本式ガアル、何レノ式ヲ用ヒヤウカト云フコトガ問題ニナッタノデアリマス、デ此地圖ハ世界

地圖デアル、國際地圖デアル、カルガ故ニ英語流ニ書イテ居、テハ佛蘭西人ヤ獨逸人ガサウハ讀マナイ、デ最モ不都合ナノハ此英語ノ「シー」「エッチ」ト云フ、「シー」「エッチ」ノ音デアル、千葉ト云フノ「シー」「エッチ」「アイ」「ビー」「エー」ト書イテ居、テハ佛蘭西人ハ芝ト云フ、芝山内ノ芝ト云フ、千葉ト間違ヘテシマウ、市川ト云フノ石川ト讀ム、斯ウ云フ不都合モアリマス、之ヲ陸軍省ガ御調ベノ上ニ日本式ヲ御用ヒニナク、日本式トハ言ハナイ、陸軍デ調ベタ式ヲ以テ地圖ヲ書カレタノデアリマス、而シテ是ガ大正六年ニ初メテ此東京ノ部ガ發行サレタノデアリマス、即チ此圖デアリマス、此海ノ深サハ百米毎ニ一線ヲ引クベシト云フ規則ニ從、テ居ル、千葉ハ「チー」「アイ」「ビー」「エイ」ト書イテアル、富士ハ「エッチ」「ユー」「ゼット」「アイ」ト書イテアル、デ是ガ出テ國際ニ發表サレマシタカラ、日本ノ地名ノ書キ方ト云フモノハ是デアリゾト云フコトヲ國際的ニ持チ出シタモノデアリマス、ソレカラ致シマシテ、之ニ先ダテ向ホ公ケニ此書キ方ヲ統一シマシタノハ文部省デアリマス、是ハ大正二年ニ中央氣象臺、氣象學ト云フモノハ世界中關聯シテ居ルモノデアアル、溫度ノ變化、暴風雨ノ通過等ハ各國皆共通ニ知ラサレナケレバナラス、氣象表ト云フモノハ、「ローマ」字地名ヲ書イテアル、此地名ノ書キ方ヲソレマデハ獨逸流、佛蘭西流、英語流ガアタモノヲドウニカシヤウ、茲ニ於テ時ノ中央氣象臺長中村精男博士ガ、全國ノ測候所長ヲ集メマシテ之ヲ論ジマシテ、其結果滿場一致ヲ以テ日本式ヲ使フト云フコトニ定、タノデアリマス、而シテ大

正二年以來今日マデ、之ガ繼續サレテ居リマス、各國ノ氣象學、或ハ氣候學等ニ於テハ日本ノ地名ハ、此日本式中央氣象臺式ヲ使、テ居ルノデアリマス、ソレカラ此圖ガ尙ホ進ミマシテ、今ハ大阪ノ部、金澤ノ部ガ出來マシテ、尙ホ陸軍省ニ於テハ之ヲ調製中デアリマス、丁度此百萬分ノ一ト云フ大キサハ現代ノ飛行機ノ速度デ飛ビマスト云フ手頃ノ圖デアリマス、昔ハ二十萬分ノ一ナドヲ持、テ居リマシタケレドモ、飛行機ガ早クナツテ來マスストソレデハ大キ過ぎル、是ガ「百キロメートル」ガ「十センチメートル」ニ當リマスカラ、丁度好イ加減ノ圖ニナルノデアリマスカラ、其點デモ百萬分ノ一ノ圖ガ成ルベク速ニ完成スルコトヲ望シデ居リマス、更ニ大正十五年ニナリマシテ此圖ノ半分ノ大キサ二百萬分ノ一ノ地圖ヲ參謀本部ヨリ發行セラレマシタ、デ是ハ樺太、朝鮮、臺灣ヲ入レマシテ帝國ノ版圖全部ノ圖デアリマス、此地名ハ矢張り前ニ統一サレタ所ノ此式ヲ以テ地名ヲ書イテアリマス、此時ハ恰モ日本ニ汎太平洋學術會議ガ開カレマシタ時デアリマシテ

所ガ斯ウ云フ書キ方ガア、テハ混雜ヲシテ困ル、鐵道ナドハ旅客ノ都合上モアリマシテ「ヘボン」式ガ使、テアル、ソレデ公文ヲ以テ日本ノ地名ノ書キ方ニハ近頃見ルト云フト、日本式トカ云フ新シイ書キ方ガ出テ來タ、是ハ舊來見慣レタ所ノ「ヘボン」式ト較ベテ違、テ居ル、混雜ヲスル日本政府ハドチラノ書キ方ヲ以テ正式ノ書キ方ト爲スノデアルカ、希クバソナ新ラシイモノヲ止メテ「ヘボン」式ニ統一スルコトヲ望ムト云フ照會ガ來タノデアリマス、倫敦ノ大使ニ之ヲ出シタノデアリマス、倫敦ノ大使ハ之ヲ政府ニ問合セマシテ、政府ハ其ノ關係ノ向キニ諮リマシテ、之ニ返答シマシタニハ、日本ニ於テ「ローマ」字ノ書キ方ハ二タ通りアル、「ヘボン」ト日本式トアル、之ヲ今ドチラト一定スル譯ニハ行カナイ、兩方勝手ニ使、テ居ル、併シ其差ト云フモノハ大シタ違ヒデハナイ、次ノ表ノ如シト云フノデ表ヲ附ケマシテ之ヲ送、タノデアリマス、附加ヘマスガ、只今迄ハ陸ノ方ダケヲ申シマシタガ、海ト陸ト續カナクテハ調子ガ合ヒマセヌカラ、海軍ニ於テモソレ迄ハ「ヘボン」式ヲ使、テ居、タ海軍ヲ改メマシテ、大正十一年ヨリ陸軍同様日本式ト同ジモノヲ使、テ居、タニナリマシテ、是ガ出版サレテアル、此事モ英吉利ノ方カラ海軍ノ海圖ニモ是ガ使、テアル、サウ云フコトヲ言、テ來タノデアリマス、其時ハソレデ一段落ニナ、タノデアリマスガ、其翌昭和三年ニハ、倫敦ニ於テ萬國地理學會ガ開カレタノデアリマス、此萬國地理學會ニ於テ此問題ガ出タノデアリマス、即チ日本地名ノ書キ方ガ「ヘボン」式ト日本式トアル、願クバ「ヘボン」式ニ統一スルコトヲ日本政府ニ希望

スルト云フ決議案ヲ出サウト云フ交渉ヲシタノデアリマス、日本政府代表ハ、今ハ故人トナリマシタ山崎直方博士デアリマシタ、山崎君ハ之ニ對シテ今日日本デ二通りノ式ガ行ハレテ居ルハ、實際行ハレテ居ル、之ニ對シテ、之ヲ用ヒロトカソレヲ用ヒロトガ云フ差シロハ私ニハ取次ギ兼ネルト斯ウ斷、タノデアリマス、ソレデ、然ラバドチラデモ宜シイ、ドチラカ一ツニシテ欲シイ、斯ウ云フコトヲ發議者カラ持出シマシテ、遂ニ之ヲ決議案トシテ會議ニ持出シタノデアリマス、所ガ之ガ會議ニ出マスト云フト案ノ定、佛蘭西ヲ始メシテ反對ガ出マシタ、ソシナコトヲ差シロスル必要ハナイ、現ニ埃及デモ亞利比亞デモ色ニナ書キ方ガアル、ソレヲ書キ方ヲ統一シロナント云フコトヲ言ハナクテモ、其國ニ於テ適宜ニ是ハ決メルベキ問題デア、テ、外カラ差シロスル問題デナイト云フ議論ガ出タノデアリマス、併ナガラ多數決ニ依、テ此決議案ガ通過イタシ、之ヲ山崎博士ガ我が政府ニ報告シテアリマス、ソコデ初メ之ヲ「ヘボン」式ニスルコトヲ望ムト云フコトヲ言ヒマシタ所ノ「レノルツ」氏ガ聲明ヲ致シマシタ、即チ「ステートメント」ヲ出シマシテ、今マデ見慣レタモノト違、タ書キ方ハ困ル、「ヘボン」式ハ慣レテ居ルカラ宜イト云フ聲明書ヲ發シマシタ、其聲明書ノ中ニチヨット私ノ氣ノ付キマシタコトハ、日本政府ハ水ノ漏ラヌヤウナ部屋ノ中デ各省ガ分レテ仕事ヲシテ居、テ、其間ニ聯絡ガナイサウダ斯ウ云フコトガ書イテアリマス、是ハ英米國ト雖モ今ノ「メートル」法ナドハ、或所デハ「メートル」法ヲ勵行シテ使、テ居リマス、或所デハ「吋」、封度ヲ固執シテ居ル所ガアル、彼等ハ

水ノ漏ラヌ部屋ニ入テ居ルカ何カ知りマセヌガ、兎ニ角「レノルツ」氏ハサウ云フコトヲ書イテ居リマス、之ヲ出シマシタノハ「レノルツ」氏一個人ノ意見トシテ是ハ出シタノデアリマス、同ジ昭和三年ノ終リ、十月ニハ倫敦デ萬國船舶信號書改訂會議ガ開カレタノデアリマス、此會議ニハ同ジク地名ノ問題ガ出來テ參リマシタカラ、政府カラ訓令ヲ發シタノデアリマス、此訓令ノ寫モ持テ來テアリマスガ、外ノ訓令ハ大抵關係ノアル省ノ大臣カラ出ルヤウデアリマスカ、此訓令ハ總理大臣、外務大臣、内務大臣、海軍大臣、逓信大臣ノ五大臣ノ訓令デアリマス、其訓令ハ此信號ニ用フル日本ノ地名ノ羅馬字綴リ方ハ海軍式、即チ日本式ニ同ジモノヲ用フルコトニシロト云フ訓令デアリマス、而シテ此會議ノ復命書ガ此處ニアリマスガ、其二十五枚目ノ所ニ之ニ關係シテ斯様ニ報告シテアリマス、「帝國地名信號ニ關聯シ當委員ヨリ提出セル地名ハ海軍式所謂日本式ニ同ジ」羅馬字綴リ方ニ依リタル所英國水路部ヨリ英版圖誌ハ勿論日本出版ノ海圖ノ地名ニモ今尙ホ「ヘボン」式ニ依リテ記載シアルヲ以テ新通信書ヲ使用スルニ當リ困惑ヲ生ゼズヤ、又帝國委員ガ斯ノ如キ新式綴リ方ヲ使用スルニ至レル理由如何トノ質問アリタルヲ以テ、本件ニ關シ本國水路部ニ照會シ直接英國水路部宛「新通信書實施期日迄ニハ日本海圖ハ全部通信書掲載ノ地名ト同一綴リ方ヲ以テ記載スルコトニ改版スル」旨通牒シ、尙ホ當委員ニ於テ日本各官廳其他ニ於ケル新式ト舊式トノ綴方ノ使用狀況ヲ詳細ニ説明シ漸ク納得ノ上提案通りノ綴方ヲ以テ掲載スルコトニ決定シタリ、斯ウ云フ復命書ガ出テ居リマス、之

ヲ見シテ我ガ委員ガ如何ニ我ガ國語ノ綴方ニ對シテ努力奮闘サレタコト云フコトガ想像イタサレマス、而シテ英國ガドウ云フ態度ニナルカト思ヒマシタ、初メ「レノルツ」ノ言フ書面ノ中ニハ、新式デ書カレテハ字ノ頭字ガ違フカラ誠ニ迷惑ダト言、テ居リマシタガ、其後英國ガ一昨年出シマシタ所ノ海圖ニ、此處ヘ持テ參リマシタガ、此海圖ニ於テハ「ヘボン」式ヲ最早守ラズシテ日本式ニ近寄ラテ居ル、全然日本式ニハナリマセヌガ、兎ニ角「ヘボン」式ヲ捨テテ居ル、四國ト云フノハ「エス」「アイ」「ケイ」「オー」「ケイ」ト書イテ「エス」「エツチ」「アイ」「エツチ」ヲ取テシマツテ居ル、此處ニ書イテアリマス、遠クカラ見エマスマイケレドモ……サウシテ此赤イ線ヲ引イテアリマスガ、サウシテ其下ニ括弧ノ中ニ細イ字デ「エス」「エツチ」「アイ」「ケイ」「オー」「ケイ」「ユー」ト昔ノ書キ方ヲシテ居ル、ソレカラ備中ト云フノハ「ビー」「アイ」「シー」「エツチ」「アイ」「ユ」デアッタノヲ……海圖ガ二ツアルノデ違、テ居ルデスガ……コチラノ方デハ「ビー」「アイ」「エス」「ワイ」「ユ」備中、コチラノ方ハ「ビー」「アイ」「エス」「ワイ」「ユ」備中、斯ウ云フヤウニ「シー」「エツチ」ハ止メテ「ディー」「アイ」「エス」「エツチ」ハ止メテ「ディー」「アイ」ニシテ其海圖ヲ出シタ、英國ガ斯様ニ改メタノデアリマス、ソコデ此羅馬字ノ書方ニナリマスルカラ……甚ダ時間ヲ取テ恐縮ニ思ヒマスガ、羅馬字ト云フモノノ使方ニ關スル世界ノ言語學者ノハ議論ハドノ邊ニ行、テ居ルカト云フコトヲ、極メテ簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、昔ハ羅馬字ハ音ヲ表スモノデアルト考ヘテ居タノデアリマス、若シモ羅馬字ガ音其儘ヲ表スモノデアッタ

ナラバ、發音記號ナドト云フモノノ出テ來ル筈ガアリマセヌ、何ダテ發音記號ナント云フ餘計ナモノヲ作リマスカ、羅馬字ハ國語ニ於ケル音系統ヲ表ス文字デアアル、音系統ト云フト甚ダ漠然デアリマスガ、簡單ニ申シマスレバ我ミハ既ニ千年以上之ヲ知ッテ居ッタ、五十音ニ於ケル所ノ行、「タ」行、「サ」行ト云フノハ、是ハ音系統デアアル、是レ即チ現代ノ「フォネム」デアアル、之ヲ歐羅巴人ガ千八百九十二年初メテ「ボー・ド・ウイン・ド・カーティネイ」ガ論文ニ書イテ發表シ、羅馬字デ音其モノヲ寫スト云フノハ誤リデアアル、音系統ヲ書クベキモノデアアル、音系統ハ言葉ノ中ニ於ケル位置ニ依ッテ色々變化ヲスルモノデアアル、其變化ヲ含シタ所ノ音素ヲ書クノデアアル、日本ノ「タ」行ノ「チ」「テ」ト云フノハ其次ニ「ア」、「エ」、「オ」ガ來レバ、「タ」、「テ」、「ト」ニナル、「イ」、「ウ」ガ來レバ「チ」、「ツ」ニナル、斯ウ云フ變化、之ヲ歐羅巴人ハ「ワリアント」ト稱シテ、同一ノ文字ニ此變化ヲ許シタモノデアアル、斯様ニ音ノ國語ニ於ケル有機的表現法ヲヤレバ文法ガ非常ニ簡單ニナル、此事ヲ一昨年「ゼネバ」ニ於キマシテ萬國言語學會ニ於テ此新シキ羅馬字ノ見方、現今ハ音韻學ト譯シテ居リマスガ、「フォノロジ」ノ研究ノ報告ガアリマシテ、塊地利ノ「ウキン」大學教授公爵「トリベスコイ」氏ガ此報告ヲシマシタ、ソレニ付キ私此處ニ居、テ實ニ意外ニ感ジマシタコトハ、此主義ニ從ッテ書イタ模範的實例ガ此處ニアル、是ハ何デアアルカト云フト、日本ニ現ハレタ所ノ日本式ト云フ書キ方デアアル、而シテ「トリベスコイ」氏ハ堂々ト「タ」行、「サ」行ノ理論ヲ並ベ立テマシタ、實ニ

私ハ驚キマシタ、影ニ廻ッテ運動シタノデモ何デモナイ、斯ウ云フモノヲ言語學者トシテ日本デ著ハサレタモノヲ讀ンデ居ル、之ニ對シマシテ丁抹、丁抹ト云フヨリハ世界ノ言語學者「エス・ベルセン」教授ガ立チマシテ、更ニ意見ヲ述ベマシテ、是ハ詰リ經濟問題、此羅馬字ヲ音表記號ト心得テ書イテ居、テハ文法ノ教育ガ複雑ニナッテ甚ダ困アル、音表記號ヲ離レテ使ハバコソ文法ハ簡單ニナルト、斯ウヤリマシタカラ、私モ更ニ立チマシテ日本式ト「ヘボン」式ノ優劣ノ點ヲ述ベマシタ、ソコニハ東京帝大ノ市川教授モ居ラレマシタ、外語學校ノ千葉君モ居ラレマシタ、而シテソコニ「ヘボン」式ヲ以テ日本語ヲ書カナケレバ日本ノ恥ニナルト云フヤウナ「パンフレット」ヲ書イテ出シテ居リマシタ、其「パンフレット」ヲ出シタ程ノ諸君デアアルカラ、何カ一言ナカルベカラズト待、テ居リマシタ所ガ一言モ言葉ハナカッタ、是ハ事實デアリマス、ソレカラ翌月ニ巴里ニ於キマシテ萬國地理學會ガ開カレマシタ、斯様ナ形勢ニ鑑ミマシテ我ガ政府代表ガ此地名ノ書キ方ニ對シテ如何ニ努力シタカト云フコトヲ鑑ミマシテ、又英國ガ既ニ其國ノ地圖ヲ日本式ニ近寄セテ書クヤウニナッタコトヲ鑑ミマシテ、私ハ一會員トシテ日本地名ノ書キ方ヲ、目下參謀本部デ出ス所ノ萬國地圖、海軍水路部デ出ス所ノ日本海圖、之ニ使テアル所ノ日本式ト同ジ書キ方ニ統一スルト云フ意見ヲ發表スルト云フ動議ヲ出シマシタ、打明ケテ申シマシレバ實ハ私ハサウ云フコトヲ日本政府ニ建議スル、斯ウ云フコトヲ書イテ出シマシタレバ、時ノ幹事ハ是ハ倫敦ニ於テモ議論ガアツタ、ソレヲサウシテハ國權問題ニ差障

ルカラ其處ノ文句ハ、意見ヲ我ニガ發表スルコト云フコトニ直シテ宜カラウト言ヒマシタ、デ私モソレニ同意シマシテ、此地理學會ハサウ云フ意見ヲ發表スルト云フコトニシマシテ、同會ノ第六部ニ之ヲ提出シマシタ、第六部ト申シマスノハ文獻及教育ニ關係シタモノデアリマス、此處ニ出シマシテ、定メシ英米カラ反對論ガ出ルダラウト思ヒマシタ所ガ、案外ニモ此論ニ對シテ佛蘭西側ヨリ大賛成デアアル、地名ハ其國ノ國語ニ適フタ書キ方ニ統一スベキデアルト云フテ、日本ノ地名ヲ和蘭ハスウ書ク、獨逸ハスウ書ク、佛蘭西ハスウ書ク、色々黑板ニ書キ竝ベテ、現代ノ言語學ニ適フタ日本式デ書クコトニ統一スルコトハ大賛成デアアルト論ジ、而シテ議長ノ命令ニ從テテ手ヲ擧ゲテ此贊否ヲ決シマシタ所ガ、全會一致ヲ以テ此議案ガ通フタデアリマス、私ハ實ハ此案ヲ出シタ後デ、……此案ヲ出シタ時ハ個人トシテ出席シテ居リマシタガ、其後デ外務省ヨリ電報ヲ以テ、日本政府代表トシテ出席セヨト云フコトデアリマシタ、大使館カラ其事ヲ言テ來マシタカラ、政府代表トナツタノデアリマス、故ニ此顧末ハ他ノ會ノ狀況ト共ニ時ノ外務大臣幣原男爵ニ宛テテ報告書ヲ出シテ置キマシタ、尙ホ改メテ此事ニ關係アル各官廳ニ御通知ヲ願ヒタイト云フコトヲ附加ヘテ出シテ置キマシタ、斯様ニ地名ノ問題ハ出來マシタガ、之ニ對シテ伺ヒタイノデアリマス、此萬國船舶信號書改訂會議ニ委員ヲ出スニ當リマシテ、「ヘボン」式ヲ主張スル所ノ諸君ヨリ、當局ニ向テ激シキ運動ヲ爲サレタノデアリマス、日本式ナドト云フアンナ變ナ書キ方ヲ用ヒテハナラヌ、今迄用ヒラレテ居ル所ノ

「ヘボン」式ヲ使ヘト云フコトヲ唱ヘラレタノデアリマス、是ハ時ノ海軍大臣岡田大將ヨリ直接伺フタ所デアリマスガ、其時ニハ「ヘボン」式ノ人ガ來テ四十分間モ長ミト理窟ヲ聞カサレタ、日本式デハ書カレナイ音ガアルトカ何ト云フコトヲ聞カサレタト云フコトヲ、岡田大將ハ二度程私ニ御話ニナリマシタ、私共ハサウ云フコトハ後デ知リタ、私自身ハ海軍省カラノ御依頼ニ依テ日本式ノ説明ニ行キマシタ、保リノ武官ガ一堂ニ御集リニナツタ所デ、日本式ノ立場ハ斯ウ云フモノデアアルト云フコトヲ約一時間餘リ説明イタシマシタ、ソレダケデアアル、然ルニ「ヘボン」式ヲ主張スル者ノ中ニハ、此陸海軍デ使テ居ル所ノ、日本式ヲ使テ居ルモノハ外部カラノ運動ニ依テ之ヲ使テ居ルノデアアル、甚シキハ日本式ヲ主張スル者ハ卑劣ナル運動ヲシテ、日本式ヲ擴メルト云フヤウニモ言テ居リマス、ソコデ私ガ伺ヒタイノハ……初メ陸海軍大臣ニ伺ヒタイコトハ、陸海軍ハ此綴リ方ヲ御定メニナルニハ、外部カラノ干涉ニ依テ御使ヒニナツタノデアリマス、或ハ常局ノ御調査ニ依テ之ニ御定メニナツタノデアリマス、之ヲ此席ニ於テ明確ニ伺フテ置キタイノデアリマス、ソレヲ伺ヒマシタ上ニ、更ニ文部大臣ニ質疑ヲ致シタイト存ジマス、先ヅ此事ニ付キマシテ、陸海軍ガ此綴リ方ヲ御使ヒニナツタ手續ヲ兩大臣ニ伺ヒマス

（國務大臣荒木貞夫君演壇ニ登ル）  
○國務大臣（荒木貞夫君） 御答ヘ致シマス、只今ノ所謂日本式ニ地圖ノ書キ現ハシ方ヲ決定イタシタコトニ付キマシテハ、當時諸種ノ議論モアリマシタラウ、又色々ノ意見モ聽取イタシタコトト存ジマスガ、陸軍自體ハ海軍トノ關係モアリマスノデ、此研究ノ結果、之ヲ最モ良キモノト考ヘテ決定イタシタ次第デアリマス  
（國務大臣大角岑生君） 海軍ガ日本式ヲ採用イタシマシタノハ先程御話ノ大正十二年デアリマス、當時ノ事情ハ私、篤ト承知イタシマセヌガ、只今陸軍大臣ノ述べマシタ趣意ニ依リマシテ、斯クスルコトガ適當デアアルト云フコトヲ信ジテヤッタモノト思ヒマス、爾後ソレニ關シ、海軍部内デハ更ニ之ヲ他ノ形式ニ改メナケレバナラスト云フヤウナ議論ノ起キタコトハ、マダ承知イタシテ居リマセヌ、矢張りアノ儘デ繼續スル考ヘデアリマス  
（田中館愛橘君演壇ニ登ル）  
○田中館愛橘君 只今兩大臣ノ明確ナル御答ニ對シマシテ謹ンデ御禮ヲ申上ゲマス、伺ヒマスル所ニ依リマシテ、是ハ陸軍省海軍省ニ於テ、御調査ノ上ニ御定メニナツタコトト存ジマス、更ニ之ニ續キマシテ、海軍公報附錄、昭和三年六月ニ海軍省ヨリ通牒ガ出テ居リマス、「通牒、部内一般御中」「ローマ」字綴方ニ關スル件、海軍部内ニ於ケル「ローマ」字綴方標準ヲ別紙ノ通定メラレ候右通牒ス、而シテ「ローマ」字綴方標準ト云フ所ニ表ガ出テ居リマス、尙又昭和四年九月五日、陸軍第四〇九〇號ニ、「ローマ」字綴方ノ件、陸軍一般へ通牒、陸軍省副官松浦淳六郎、陸軍部内ニ於テ使用スル「ローマ」字綴方ハ別紙ヲ準用スルコトト定メラレタルニ付通牒ス、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、斯ノ如キ形勢デアリマス、尙ホ先程申上ゲヤウト思フテ來テ居リマシテ忘レマシタガ、茲ニ佛蘭西ノ地理學會デ出シマ

シタ日本ノ地形篇ガ是ダケ出テ居リマス、其初メニ於テ此地名ノ書キ方ニ付テ斷ハリガアリマシテ、今迄ノ書キ方ト違フタ、富士、「エッチ」「ユウ」「ゼット」「アイ」ナドハ見慣レヌカラ不便ニ感ズルモノモアラウ、去リナガラ言語學上ノ大ナル原理ニ基イテ其上ニ陸海軍ガ之ヲ一般ニ使テ居ルカラ、地理學者ハ之ニ統一シテ書カレタイト云フコトガ此處ニ書イテアリマス、「グラント・カリテイ・ランクス・エス・チック」ト書イテアリマスガ、言語學上ノ大ナル性能ニ基イテ居ル、斯様ナ譯デアリマシテ、日本式綴リ方ハ決シテ一部ノ偏屈ナル者ノ横車ヲ押ストカ、片意地ニ使フト云フ趣意ノモノデアリマセヌコトハ御分リダラウト思ヒマス、尙ホ又陸海軍ガ、斯ノ如ク一般ニ陸軍海軍デ之ヲ御使ヒニナル、斯ノ如キ形勢ニ於キマシテ、世間ニ於テモ時事新報年鑑、朝日新聞ノ年鑑等ニ於テハ、此「ローマ」字綴ヒ方ノ所ニハ、此處ニアル海軍ノ標準ト云フモノダケガ載テ居リマス、ソコデ文部大臣ニ御伺ヒ致シマスガ、斯ウ云フ使ヒ方ガ世間一般ニ行ハレテ來ル、一般ニト申シマスノハ此使ヒ方ハ郵便局デモ通レバ、電信局デモ通り、陸軍省、海軍省等ニモ通用シテ居ル、尙ホ又各官廳ニ於テ之ヲ使用スル所ハ多クアリマスガ、詳シイコトハ申シマセヌ、斯ウ云フ時代ニ於テ之ヲ小學生ニ御教ヘニナルコトハ、現代ノ形勢ニ鑑ミテ最モ適當ト思フノデアリマスガ、當局ハ其事ニ付テハドウ云フ御考ヘデアリマセウカ、茲ニ第五十二議會ニ於テ前ノ岡田文部大臣ノ言明サレタ所ノ速記録ヲ持テ居リマス、其ノ一節ヲ讀ミ上ゲマス、本員ノ質問ニ對シマシテ斯ウ云フコトヲ御述ベニナツテ居リマス、「師範學校ニ於キマシテハ能ク

其利害ヲモ考ヘテ、又生徒ニ對シマシテハ、獨リ「ヘボン」式バカリデハナイ、斯様ナル改良サレタル「ローマ」字ノ書キ表ハシ方モアルノデアルト云フコトヲ示サヌケレバナラヌト云フコトヲ、師範學校長ニハ能ク訓示イタシテ置キマシタ、定メシ師範學校ニ於キマシテハ其訓示ニ基キマシテ、日本式ノ「ローマ」字ノ授業ヲモ致シテ居ルコトト信ジテ居リマス、斯ウ云フコトデアリマシテ、岡田文部大臣ハ此日本式「ローマ」字ヲ教ヘロ、斯ウ云フ改良サレタルモノガ出テ來タカラ教ヘロト、是ハ五十二議會デアリマスカラ、モウ今カラ七年モ前ノコトデアリマス、實ハ此岡田前文部大臣ノ訓示ニ依テ日本式ガ愈、其正當ナルコトガ認メラレマシテ、英語ノ先生ナドハサウ云フ書キ方ハ嘘ダナドト申スコトハ幾ラカアリマセウガ、昔程ハ無クナッタノデアリマス、「ローマ」字ヲ教ヘルコトノ必要ニ付キマシテハ、私初メテ議員ノ席ヲ汚シマシタ以來、屢、政府ニ御尋ヲ致シマシタ、今日ハソレヨリ時代モ進ンデ居リマスルシ、日々外國ト往復ノ書類等モ殖エテ參リマシテ、統計ニ依リマスレバ、電報、郵書ニ於テ數萬ノ書類ガ毎日日本ニ出入シテ居ルノデアリマス、又議員選舉ノ投票ニ於テモ、此書キ方ガ正當ニ認メラレテ實行サレテ居ルノデアリマスカラ、「ローマ」字書キヲ知ラヌデ居テハ、投票ノ立會人ニナル資格ガ無クナルノデアリマス、小學校ニ於テ「ローマ」字ヲ教ヘルト云フコトハ、國字ニスルシナイハ別ノ問題トシマシテモ、今日ハ必要缺クベカラザルコトト信ズルノデアリマス、而シテ此「ローマ」字ヲ教ヘルニ付テハ日本式竝ニ今英語界デ使ハレテ居ル「ヘ

ボン」式モ、此英國ノ海圖ガ適當ナル處置ヲ致シタ如ク、當分ハ兩方トモ知ラナケレバナリマスマイ、今「メートル」法ヲ行フカヲト云フデモ、一時ニ尺ヤ斤ヲ廢シテハ困ル、當分アレヤル、是ハ併ナガラ結局ハ理想化シタ所ノモノニ統一シナケレバナラス、現代ノ狀況ニ於テハ「ローマ」字ヲ教ヘル必要ガアル、必要ガアレバ、此日本式ト「ヘボン」式ト兩方小學校ノ子供ニ知ラセルベキト思フ、是ハ僅ニ二頁入レテ置ケバ宜イノデ、大シタ面倒ハナイノデアリマス、之ニ付キマシテ文部大臣ノ御考ヲ伺ヒマス

只今ノ全國ニ一千萬モアル小學校ノ生徒ニ、又「ローマ」字ヲ全部ニ教ヘル必要ガアルカドウカト云フコトハ、「ローマ」字ガ統一セラレタル後ニモウ一度考ヘテ見ナクテハナラヌモノト考ヘテ居リマス、「ローマ」字ガ統一サレテ、日本ノ地名ガ同一文字デ世界ニ知ラシメラレルト云フコトハ、最モ必要ナコトト思ヒマスケレドモ、其必要カラ直ニ小學校ノ生徒ニ全部教ヘナクテハナラナイト云フ結論ハ直ニ得ラレナイヤウニ考ヘテ居リマスノデ、只今ハ此點ニ付テ調査中デアルト云フ以上ハ御答ヲスルコトガ出來ナイノデアリマス

レマシタコトハ、若シモ日本式ハ間違テ居ルトカ嘘デアルトカ云フコトヲ言フ者ガアタトシタナラバ、斯ウ云フコトガ文部省ノ耳ニ入ッタナラバ、之ニ對シテ警告ヲ發スルコトヲ怠ラナイ、斯ウ云フコトヲ仰セラレマシタガ、現大臣モ矢張り其方針ヲ御執リ下サルデアリマセウカ、現代行ハレテ居ルモノハ之ヲ行フベキデアラウカト思ヒマス、次ニ私ノ質問ト致シマシテハ、少シ柄ガ外レルヤウデアリマスガ、此「ローマ」字調査會ノ御話ガ出マシタガ、調査會ノ此議事速記録ト云フモノハ、第一ト第二ト「秘」ト云フ判ガシテ、私ノ所ニ「秘」ト云フ判ガシテアリマセヌ、去リナガラ是ハ公開セズト規則ニ書イデアリマス、此「秘」ト云フコトノナイ部分ハ公開シテ宜シイデゴザイマスカ、之ヲ伺、テ置キマス、先ヅ此二點ヲ伺ヒマス

（國務大臣鳩山一郎君演壇ニ登ル）

○國務大臣（鳩山一郎君） 田中館博士ニ御答ヲ致シマス、只今ノ御質問ハ小學校ノ生徒ニ「ローマ」字ヲ教ヘル必要アリト認ムルガ、ドウカト云フ御質問デゴザイマス、只今政府トシテ小學校ノ生徒ニ「ロトマ」字ヲ直ニ教ヘルト云フ計畫ヲ持テ居リマセヌ、田中館博士ガ仰シヤイマス通りニ、「ヘボン」式或ハ標準式ト云ハレルモノト、日本式ト云ハレルモノト二ツノ對立ニナテ居リマシテ、其何レカニ統一スルト云フ必要ヲ認メテ、只今文部省内ニ「ローマ」字調査會ト云フモノヲ作テ居リマス、御承知ノ通りニ「ローマ」字調査會モ段々質疑討論ガ進行シテ居リマシテ、餘リ遠カラザル時ニ結論ガ著クダラウト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ調査會ガ設ケラレテ居ルモノデアリマスカラソレヲ待テ後ニ「ローマ」字ノ統一ノ爲ニ文部省トシテモ骨ヲ折リタイト思ヒマス、併シ統一ガ付イタ後ニ直ニ小學校ノ生徒ニ之ヲ教ヘル必要ガアルカドウカト云フコトハ、又モウ一度考ヲ廻ラシテ見ナケレバナラヌト思フノデアリマシテ、

只今ノ全國ニ一千万モアル小學校ノ生徒ニ、又「ローマ」字ヲ全部ニ教ヘル必要ガアルカドウカト云フコトハ、「ローマ」字ガ統一セラレタル後ニモウ一度考ヘテ見ナクテハナラヌモノト考ヘテ居リマス、「ローマ」字ガ統一サレテ、日本ノ地名ガ同一文字デ世界ニ知ラシメラレルト云フコトハ、最モ必要ナコトト思ヒマスケレドモ、其必要カラ直ニ小學校ノ生徒ニ全部教ヘナクテハナラナイト云フ結論ハ直ニ得ラレナイヤウニ考ヘテ居リマスノデ、只今ハ此點ニ付テ調査中デアルト云フ以上ハ御答ヲスルコトガ出來ナイノデアリマス

（田中館愛橋君演壇ニ登ル）

○田中館愛橋君 只今ノ御答ニ付テ重ネテ御尋ネ致シマス、「ロトマ」字調査會ト申シマスノハ、アレハ結論ハ遠カラズ著クダラウト云フ御考デアリマスガ、實ハ私モ其末席ヲ汚シテ居リマスノデ、委員ノ一人デス、如何ニ結論ガ著カウトモ、今ノ間ハ此二ツノ行ハレテ居ルモノヲ教ヘル必要ガアラウト思ヒマスガ、現代ニ於テデスナ、將來ハ成程統一スルマデニハ中ミノコトト思ヒマスガ、ソレヨリハ此現代ノ有様ヲ知ラシメルコトハ、先刻申シマシタ如ク、投票ノ立會人、郵便ヲ讀ムトカ云フコトデ、普通ノコトヲスル、而シテ或ハ文部省ノ認定ヲ得マシテ、隨意科トシテ全國ノ小學校其他ノ學校デ教ヘテ居リマス、此點ニ付キマシテ、甚ダ御手數デアリマスガ、モウ一應伺ヒマス、唯今ノ隨意科トシテ行ハレテ居ル程度ノモノハ、是ハ必ズシモ調査會ガ結論ニ達シナクトモ教ヘルベキモノト信ジマスガ、其點ハ如何デアリマセウカ、尙ホソレニ付キマシテ、此前ニ岡田文相ノ時ニ言明セラ

（國務大臣鳩山一郎君演壇ニ登ル）

○國務大臣（鳩山一郎君） 御答ヘ致シマス、小學校デハ義務教育トシテハ隨意科デモヤッテ居リマセヌガ、高等小學校デハ隨意科トシテヤッテ居リマス、高等小學ノ英語ノ本ニハ御承知ト思ヒマスガ、日本式ト「ヘボン」式ト兩方公平ニ教ヘタ方ガ……教ヘル機會ガアレバ教ヘタ方ガ宜イト云フヤウニ文部省ハ考ヘテ居リマス、決シテ日本式ノ方ミガ只今壇上デ御心配ニナルヤウナコトヲヤッテ居ラ、シヤルト云フヤウナコトハ寸毫モ考ヘテ居リマセヌ、又他ノ御質問ノ調査會、「ローマ」字調査會ノ議事ヲ公開スル意思ガアルカドウカト云フ御話デアリマスガ、總テノ調査會ノ議事ハ原則トシテ祕密ナモノニナテ居リマスノデ、「ロー

（國務大臣鳩山一郎君演壇ニ登ル）

只今ノ全國ニ一千万モアル小學校ノ生徒ニ、又「ローマ」字ヲ全部ニ教ヘル必要ガアルカドウカト云フコトハ、「ローマ」字ガ統一セラレタル後ニモウ一度考ヘテ見ナクテハナラヌモノト考ヘテ居リマス、「ローマ」字ガ統一サレテ、日本ノ地名ガ同一文字デ世界ニ知ラシメラレルト云フコトハ、最モ必要ナコトト思ヒマスケレドモ、其必要カラ直ニ小學校ノ生徒ニ全部教ヘナクテハナラナイト云フ結論ハ直ニ得ラレナイヤウニ考ヘテ居リマスノデ、只今ハ此點ニ付テ調査中デアルト云フ以上ハ御答ヲスルコトガ出來ナイノデアリマス

（田中館愛橋君演壇ニ登ル）

○田中館愛橋君 只今ノ御答ニ付テ重ネテ御尋ネ致シマス、「ロトマ」字調査會ト申シマスノハ、アレハ結論ハ遠カラズ著クダラウト云フ御考デアリマスガ、實ハ私モ其末席ヲ汚シテ居リマスノデ、委員ノ一人デス、如何ニ結論ガ著カウトモ、今ノ間ハ此二ツノ行ハレテ居ルモノヲ教ヘル必要ガアラウト思ヒマスガ、現代ニ於テデスナ、將來ハ成程統一スルマデニハ中ミノコトト思ヒマスガ、ソレヨリハ此現代ノ有様ヲ知ラシメルコトハ、先刻申シマシタ如ク、投票ノ立會人、郵便ヲ讀ムトカ云フコトデ、普通ノコトヲスル、而シテ或ハ文部省ノ認定ヲ得マシテ、隨意科トシテ全國ノ小學校其他ノ學校デ教ヘテ居リマス、此點ニ付キマシテ、甚ダ御手數デアリマスガ、モウ一應伺ヒマス、唯今ノ隨意科トシテ行ハレテ居ル程度ノモノハ、是ハ必ズシモ調査會ガ結論ニ達シナクトモ教ヘルベキモノト信ジマスガ、其點ハ如何デアリマセウカ、尙ホソレニ付キマシテ、此前ニ岡田文相ノ時ニ言明セラ

（國務大臣鳩山一郎君演壇ニ登ル）

○國務大臣（鳩山一郎君） 御答ヘ致シマス、小學校デハ義務教育トシテハ隨意科デモヤッテ居リマセヌガ、高等小學校デハ隨意科トシテヤッテ居リマス、高等小學ノ英語ノ本ニハ御承知ト思ヒマスガ、日本式ト「ヘボン」式ト兩方公平ニ教ヘタ方ガ……教ヘル機會ガアレバ教ヘタ方ガ宜イト云フヤウニ文部省ハ考ヘテ居リマス、決シテ日本式ノ方ミガ只今壇上デ御心配ニナルヤウナコトヲヤッテ居ラ、シヤルト云フヤウナコトハ寸毫モ考ヘテ居リマセヌ、又他ノ御質問ノ調査會、「ローマ」字調査會ノ議事ヲ公開スル意思ガアルカドウカト云フ御話デアリマスガ、總テノ調査會ノ議事ハ原則トシテ祕密ナモノニナテ居リマスノデ、「ロー

（國務大臣鳩山一郎君演壇ニ登ル）

○國務大臣（鳩山一郎君） 御答ヘ致シマス、小學校デハ義務教育トシテハ隨意科デモヤッテ居リマセヌガ、高等小學校デハ隨意科トシテヤッテ居リマス、高等小學ノ英語ノ本ニハ御承知ト思ヒマスガ、日本式ト「ヘボン」式ト兩方公平ニ教ヘタ方ガ……教ヘル機會ガアレバ教ヘタ方ガ宜イト云フヤウニ文部省ハ考ヘテ居リマス、決シテ日本式ノ方ミガ只今壇上デ御心配ニナルヤウナコトヲヤッテ居ラ、シヤルト云フヤウナコトハ寸毫モ考ヘテ居リマセヌ、又他ノ御質問ノ調査會、「ローマ」字調査會ノ議事ヲ公開スル意思ガアルカドウカト云フ御話デアリマスガ、總テノ調査會ノ議事ハ原則トシテ祕密ナモノニナテ居リマスノデ、「ロー

（國務大臣鳩山一郎君演壇ニ登ル）

マ字調査會ノ内容モ公表スル意思ヲ持ッテ居リマセヌ

〔田中館愛橋君演壇ニ登ル〕

○田中館愛橋君 實ハ私モ不審ニ思ヒマシタノデ、只今ノ質問ヲシ發マシタノデ、此調査會ノ議事録、調査會ニ出テ演說シタコト、調査會ニ於テ述ベタト云フコトヲ書キマシテ、出版ヲサレタ方ガアリマス、議會ノ議事録同様ノモノ殆ド其言葉通り、サウシテ其前ニハ調査會ニ於テト斷テアリマシテ、定價二十錢ノ實品デアリマス、斯ウ云フハ御制裁ヲ御加ヘニナルモノデアリマスカ、ソレナリデ宜シイモノデアリマスカ、之ヲ伺ヒマス

〔國務大臣鳩山一郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(鳩山一郎君) 「ローマ」字調査會ノ内容ヲ、原則トシテ秘密會ニシテ載キタイト云フコトハ、政府ノ希望スル所デアリマス、ケレドモ、之ヲ此考ヘニ違フタ行動ヲサレタ方ニ對シテ、直チニ制裁ヲ加ヘル意思ガアルカドウカト云フ御質問デアリマスカ、制裁ヲ加ヘルコトモ出來ナイカト存ジテ居リマス

〔田中館愛橋君演壇ニ登ル〕

○田中館愛橋君 度々出マシテ相濟ミマセヌ、實ハ若シ發表スルコトガ出來ルナラバ斯ウ云フ問題ハ國民ト共ニ議論ヲシタイノデアリマス、僅ニ數名ノ委員ガ寄テ決メルベキモノデナイト思ヒマス、殊ニ私ノ希望イタシマスコトハ、只今私ノ手許ニ届キマシタ此出版シタモノハ「ヘボン」式ノ方ノ主張者ノ議論デアリマス、日本式主張者ノ最も熱心ナル、而シテ又最も研究ヲ積マレタル所ノ故田丸博士ハ、病ヲ冒シテ此委員會ニ出ラレマシテ、三時間四十十分ノ長キ熱心

ナル議論ヲサレマシタノデアリマス、是ハ單ニ田丸君ノ議論ノミナラズ「ローマ」字ノ研究ノ爲ニハ大切ナル論文トナッテ居リマス、田丸博士ハ之ヲ一期トシテ病ヲ抑シテ此事ヲ決行サレマシタ爲ニ、遂ニ其晩ヨリ床ニ就カレマシテ、一年ノ後ニ瘞ラレタノデアリマス、此速記録ノ校正ハ同博士御病氣ニナリマシテ、福永少佐ト私ト二人デ校正ヲ致シマシタ、田丸博士ノ病床ニ就イテ閱覽ヲ請ヒマシタ次第デアリマシタガ、斯ウ云フモノハ便宜次第出版ヲ致スコトハ、今ノ御答辯ニ依リマス、差支ナイヤウニ思ヒマスカ、私ハ大臣ノ仰セニナツタ如ク、是ハ「秘」ト云フ判ガ初メニ捺イテ來テアルカラ、外部ニ表ハスベキモノデナイト思ヒマシテ差控ヘテ居リマス、實ハ當局者ノ幹事ニモ此コトヲ要求イタシマシタ、豫算ハ一文モ無イカラ出版スルコトハ出來ナイ、サウシマス、或金ノ融通ノ利ク人ハ出版ヲシテ頒布スル、私共ノ如キ素寒貧ノ者ハ容易ニ出來ナイト云フコトニナリマシテ、誠ニ遺憾ト思ヒマスガ、私ハ願クハ此議事録ヲ帝國議會ノ議事録ノヤウニ、此議事録ヲ公開セラレテハ如何カト思ヒマス

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ復ス〕

此議事録全部ヲ公開セラレルコトハ如何デアリマセウカ、第二ニ伺ヒタイコトハ、若シ全部ガ出來ヌト云フコトデアッタナラバ、セメテ田丸博士ノ演說ダケデモ公開ヲシタイモノト思ヒマスガ、之ニ對シテ文部大臣ハドウ云フ御考デゴザイマセウカ、甚ダ每度立チマシテ相濟ミマセヌ

〔國務大臣鳩山一郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(鳩山一郎君) 御話ノヤウニ「ヘボン」式ノ方ノ所論ガ公表セラレマシテ、

日本式ノ方ガ公表セラレナイト云フコトハ不公平トハ思ヒマス、ケレドモ、調査會ノ議事ハ秘密ヲ原則トシテ居ルヤツヲ、文部省自ラ破ル譯ニハ參リマセヌカラ、其點ハ惡シカラズ御諒承下サラムコトヲ御願ヒ致シマス

〔田中館愛橋君演壇ニ登ル〕

○田中館愛橋君 簡單ニ伺ヒマス、只今ノ御答ハチヨット要領ヲ得兼ネマスガ、文部省自ラハ破ルコトハ出來ナイガ、破リタケレバ破ラデモ宜イ(笑聲)ト云フ御趣意デゴザイマスカ、其處ガハッキリ致シマセヌ、「ヘボン」式ノモノハ之ヲ秘密ノモノヲ出版シタ、ソレハ強ヒテ制裁ヲ加ヘナイ、ソレデハ公表シテモ宜イカ、ソレハ文部省自ラ破ル譯ニハイカヌガ、ヤルナラ勝手ニヤッテモ宜イト云フ御趣意デゴザイマスカ、ソコノ所ガハッキリ致シマセヌ、ドウカモウ一度御答辯アラムコトヲ御願ヒ致シマス

〔國務大臣鳩山一郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(鳩山一郎君) 私ノ方デハ分ラテ居ル積リデアリマスガ、先刻申シマシタ通りニ、「ヘボン」式ノ方デ出版サレタコトハ誠ニ遺憾トハ存ジマス、ケレドモ、之ニ對シテ制裁ヲ加ヘルト云フコトハ出來ナイヤウニ考ヘテ居リマスト申上ゲタノデアリマス、日本式ノ方デ御發表下サルコトハ文部省トシテハ望マナイノデアリマス、ケレドモ、御發表下サレマシタノニ對シテ制裁ヲ加ヘル意思ハ只今ノ所持ッテ居リマセヌ

○田中館愛橋君 此席ヨリ……サウ致シマスレバ發表スルコトハ勝手デアアル、文部省トシテハ公ニ御許シハ出來ナイ、斯ウ解釋シテ宜シイノデアリマスカ……是デ私ノ質疑ヲ終リマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際御諮リヲ致シマス、質疑ハマダ通告者ガゴザイマスカ、議事ノ都合上御異議ガナケレバ、本日ハ延會イタシマシテ他日ニ致シタイト存ジマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 請暇ノ件ニ付テ御諮リヲ致シマス、林伯爵公務上二十一日間ノ請暇ノ申出ガゴザイマシタ、許スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ノ議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日は是ニテ散會イタシマス

午後零時三分散會

雪報號外

宣統八年二月四日

貴族院議員巴彥九虎

八四